

感染症による影響について緊急実態調査アンケート 2020.04.30

中野区介護サービス事業所連絡会会員 訪問介護事業所数 66 事業所
 回答数：34 事業所（回答率 52%）

1. 不足している物品、補充の目途についてお答えください。

無回答 3 事業所

□マスク

残りおよそ 14 日分	1 事業所	残りおよそ 15 日分	3 事業所
残りおよそ 20 日分	1 事業所	残りおよそ 30 日分	10 事業所
残りおよそ 40 日分	1 事業所	残りおよそ 60 日分	3 事業所
残りおよそ 90 日分	2 事業所	残りおよそ 180 日分	2 事業所

※補充の目途（あり 7 事業所 なし 18 事業所）

□消毒用アルコール

残りおよそ 30 日分	8 事業所	残りおよそ 40 日分	1 事業所
残りおよそ 60 日分	5 事業所	残りおよそ 90 日分	1 事業所
残りおよそ 120 日分	1 事業所	残りおよそ 180 日分	2 事業所

※補充の目途（あり 12 事業所 なし 14 事業所）

□ビニール手袋

残りおよそ 15 日分	1 事業所	残りおよそ 20 日分	3 事業所
残りおよそ 30 日分	4 事業所	残りおよそ 40 日分	1 事業所
残りおよそ 60 日分	5 事業所	残りおよそ 90 日分	5 事業所

※補充の目途（あり 12 事業所 なし 13 事業所）

□その他

・体温計	・ゴーグル	・使い捨てエプロン
・防護服	・消毒液小分け容器	

2. 感染症の影響で、休止・退職しているヘルパーがいればお答えください。

よろしければ稼働時間数、理由も教えて頂けると助かります。

無回答 3 事業所

・休止、退職しているヘルパーの人数

・・・	0 名	10 事業所
	1 名	14 事業所
	2 名	6 事業所
	4 名	1 事業所

・およその稼働できない時間	・・・	1週間で 1時間～5時間	7事業所
		1週間で 5時間～10時間	2事業所
		1週間で 10時間～15時間	4事業所
		1週間で 15時間～20時間	0事業所
		1週間で 20時間～30時間	3事業所
		1週間で 30時間～40時間	2事業所

・お休みの理由	・・・	<input type="checkbox"/> 感染への懸念・不安	18事業所
		<input type="checkbox"/> 家庭状況の変化	4事業所
		<input type="checkbox"/> その他 ・利用者からの申し出	1事業所
		・新規を受けない	2事業所

3、感染症の影響で、サービス中止になったケースがあれば教えてください。

よろしければ稼働時間数、理由も教えて頂けると助かります。

無回答 3事業所

・サービス中止の件数	・・・	1件	1事業所	2件	3事業所
		3件	4事業所	4件	1事業所
		5件	6事業所	6件	5事業所
		7件	1事業所	8件	3事業所
		9件	1事業所	10件	1事業所
		13件	1事業所	16件	1事業所
		50件	1事業所	55件	1事業所

・サービス中止の週当たりの時間数	・・・	1時間	1事業所	3時間	3事業所
		4時間	1事業所	5時間	2事業所
		6時間	3事業所	7時間	4事業所
		10時間	5事業所	12時間	1事業所
		13時間	1事業所	14時間	1事業所
		17時間	1事業所	21時間	3事業所
		285時間	1事業所		

※要介護 105件 要支援 98件

・サービス中止のケア内容	・・・	掃除	9件	買物	4件
		調理	4件	家事	6件
		買物同行	4件	デイ送迎	6件
		身体介護	5件	排泄介助	6件
		入浴介助	2件		

・サービス中止の理由	・・・	<input type="checkbox"/> 在宅ワーク等によるご家族対応のため	31件
		<input type="checkbox"/> 感染への懸念によるご家族対応	94件
		<input type="checkbox"/> 感染への懸念によるご本人様の希望	91件
		<input type="checkbox"/> デイの中止によるサービス中止	24件
		<input type="checkbox"/> その他	
		・施設立ち入り禁止の為	4件
		・自費対応の為	1件
		・ヘルパー交代を拒否	1件

4、感染症の影響でサービスの増加があれば教えてください。

なしもしくは無回答 20 事業所

<input type="checkbox"/> 通所系サービスの休止によるサービスの増加		15件			
	週当たりの時間数	0.5時間	1件	1時間	3件
		2時間	3件	3時間	1件
		4時間	2件	6時間	1件
<input type="checkbox"/> その他	理由・・・(訪問看護の回数が減少のため)	2件			
	週当たりの時間数	0.5時間	1件	4時間	1件

5、感染症の影響で事業所として対応できなかったサービスがあれば教えてください。

- ①ヘルパーも現状のサービスに入ることによって神経を使い、これ以上はNOという人が多く、新規のサービスは受けていません。
- ②新規依頼時、自粛期間のケア増やすことへの躊躇するヘルパーが多く、ヘルパー自体の高齢化・持病ありもあり、稼働に不安を持っている
- ③デイサービスが休みの為、介護予防の方の入浴介助
- ④通院介助
- ⑤買物同行
- ⑥口腔ケア
- ⑦37.5以上の利用者が出たため、医療にお願いしてケアを中止せざるを得なかった
- ⑧自費対応の通院介助
- ⑨障害者関係の移動支援
- ⑩利用者発熱のため訪問中止
- ⑪利用者感染の疑いがあり、家族と相談をしてケア中止
- ⑫感染の疑いがあるヘルパーさんの入浴介助
- ⑬新規契約の直前で別居の家族などからサービスの見合わせをするように言われ、保留中

6、上記の質問以外で要望・お困りごとがありましたらご記入をお願い致します。

- ①中野区医師会による PCR 検査センターについて、かかりつけ医が他区または訪問診療医・医師会に属していない場合も対応は変わりないでしょうか？
- ②感染者の可能性があるとところへの訪問が必要な場合、防護品は行政から出してもらえないか。
- ③実際にコロナ感染者・濃厚接触者が発生増加の場合、ふりかえには限界がある。包括支援センターの対応もなく、事業者からのアクション待ちなのか何の発信もない。
- ④予防の方は一度でも利用があると料金も発生するため、考慮が必要だったり発生時を考えると辛い。家族もケアマネも依頼は強いが、緊急時における優先度の見直し・提案などが見えず、現場は不安が強い。
- ⑤東京都・中野区からの指示が曖昧なため、対応するのに時間がかかっている。例えば、利用者のマスクはどうするのか？体温計のない利用者宅はどうするのか？など詳しい支持がほしいです。
- ⑥利用者・ヘルパーとその家族の感染がこわい。「もし感染したら・・・」ということが常に有り、とても注意していますが、仕事だからとはいえこの状況下に通常通りのサービスを行うことをケアマネはご家族・ご本人と話し合っで見直しをしてもらいたい。ケアマネの多くはテレワークになり、我々は現場への伝達も頼まれたりしており、再度驚くことが多い。
- ⑦体温計がないお宅が多く、検温時に接近し、体温が高い場合、感染の疑いがあるかないかではなく、検査をするかどうかの判断でヘルパーのその後の対応で影響が出てしまうこと。
- ⑧院内感染が近隣の病院で出たため、懸念されるご本人・ご家族がいらっしゃいます。
- ⑨利用者からの休止は少なかったが、江古田周辺での感染者が出ていることで本人からの休止が増えた。4/14～事業所として利用者に強い自粛を依頼した。
- ⑩社員の定期健診が出来ず困っています。
- ⑪ヘルパーの精神的ストレスを軽減することについて困っている。
- ⑫利用者様の中にはヘルパーから感染するのではと心配している方が何人かいてヘルパーや事業所に訴えてきます。。事業所としては心配であり、ヘルパーに対してその様な気持ちを持っているならば、逆に自発的にキャンセル・中止にさせていただきたい気持ちで一杯です。
- ⑬現場の第一線で不安を抱えながらも、利用者の生活を必死で守り、訪問し続けているヘルパーに対し、予防の物資または手当などがあっても良いのではないかと。緊急事態時に自分たちでマスクや消毒液を駆けずりまわって探しているのはおかしいと思います。
- ⑭身体介護の際に使用できる防護服セットなどが頂けるとありがたい。いつにない緊張感の中で日々奔走しているヘルパーたちに国として感謝の意を表してほしい。
- ⑮障害者への居宅介護サービス・移動支援サービスを提供しているが緊急事態宣言以降のサービスの中止がとて多く、サービス減となっている。
- ⑯買物のケアでお店が混んでおり、また品物がないため何軒もまわり時間を要する。
- ⑰今後、ヘルパーに濃厚接触者が出た場合の対応をどうしたらよいか。
- ⑱PCR 検査の結果が時間がかかり、その間ヘルパー派遣が出来ませんでした。
- ⑲新型コロナの感染を恐れて、仕事に入りたくないヘルパーが増えました。
- ⑳終息の時期が見えないので「不安や恐怖ばかりが増す」それが利用者にも伝わる。マスクをしていると誰だかわからず声も聞き取りにくく認知症のある方や耳の遠い方に困っている。

7、最後に利用者・ヘルパーで感染者が出た場合、事業所にガイドラインがあれば教えて下さい。

- ①利用者感染の場合、管理者に報告し事業所で情報共有後、居宅へ報告。また、保健所にも報告し、保健所の指示に従い濃厚感染者の特定に協力し、可能な限り利用者の記録を提出する。
- ②ヘルパー同士の濃厚接触者は自宅待機。利用者と濃厚接触のヘルパーも自宅待機。利用者が感染者で必要なケアであれば予防策を講じて訪問する。
- ③訪問コロナ疑い連絡時の受付票を作成、管理者が本社対策本部に報告し、対策本部は保健所の指示に従い、事業所とともに対策を講じる。
- ④東京都の出した訪問系フローに添って対応します。発熱があった利用者に関しては極力家族対応などをお願いしています。
- ⑤会社に連絡をして保健所に状況を説明したうえで東京都のガイドラインの当てはまる項目に沿った対応をする。
- ⑥厚労省からのガイドラインを参考にしています。
- ⑦東京都新型コロナウイルス感染症対策医療介護福祉サービス等連携連絡会から出ているガイドラインを参考に職員に周知徹底しています。
- ⑧随時更新中。2週間休みになる事に対しての休業補償について話し合っています。介護保険最新情報に従う予定です。
- ⑨ご家族がケアできる場合はお願いします。独居の方等の場合は防護服等で身体を覆い常勤が対応する。ヘルパーが感染した場合、2週間お休みする。他の事業所に代わってもらいます。
- ⑩現況のガイドライン参照に状況・情報はアイクに努めるくらいです。また、出勤者のバイタルチェックは必ず報告と記録をお願いしています。
- ⑪事業所として考えつくことをガイドラインとして作り、各ヘルパーに配布しました。
- ⑫感染が疑われる利用者様にはサービス提供は実施しません。ヘルパーが要請になった場合は、出勤不可にして保健所の指示に従う。
- ⑬ガイドラインはないに等しい。(多数)
- ⑭大まかには決まっていますが、事業所を当分休業するしかないと考えています。
- ⑮保健所に相談し、対応を伺うことになっています。
- ⑯利用者の場合は、入室禁止。ヘルパーの場合は、出勤禁止にしています。
- ⑰本社にて対策本部を設置、感染者・濃厚接触者が出た場合のガイドラインあり（厚労省のガイドラインに準じているが部外秘）。速やかに保健所の指示に従う。3月中旬より本社の指示に従い、検温実施、記録に残す。
- ⑱厚労省の通達に準じます。
- ⑲恥ずかしながら特にないので、逆にこちらが教えていただきたい。